

# スクール ステーション メール

Vol.13

かのやレインボーサウンド  
目指せ！金賞！KANOYA Rainbow Sound

## 鹿屋中学校 吹奏楽部



▲卒業式や離任式、入学式など春は特に出番が多い吹奏楽部。一人ひとりが目標を持って練習に取り組んでいる。

これまでソロや少人数では結果を残してきたので、夏のコンクールでは団体でも良い結果を残し、先生方や保護者、地域に恩返しをしたいです。

吹奏楽部は3年生7名、2年生7名の計14名で活動しています。私たちは、「金翔く奏思奏愛く」という目標を掲げ、7月にある吹奏楽コンクールでの金賞及び上位コンクールへの出場に向けて練習を行っています。練習では、音をそろえることはもちろん、特に意識していることは歌うことです。歌うことで、リズムカルに力強く吹くことができます。



部長  
うめきた そうご  
梅北 颯悟 さん(3年生)

公民 地理 歴史 文化 文化財 まちづくり 人物 その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

# 鹿屋街道

## 第13路 おおすみくん家が歩んだ40年

昭和61年9月、全国で10番目の国立少年自然の家として、鹿屋市に「国立大隅少年自然の家」が開所しました。昭和47年に文部省(当時)が学制創立百周年事業として構想を発表したのをきっかけに、各地で少年自然の家誘致活動が開始。本市においても花里町内会をはじめ、官民一体となった誘致活動が行われ設立に至りました。

平成18年4月、管理組織の変更と「少年」から「青少年」と対象をより広げたことから「国立大隅青少年自然の家」へと名称を変更し、「おおすみくん家」の愛称で親しまれています。

全国各地にある自然の家・交流の家では、その土地の環境・風土に合わせた施設等で様々な体験が行われており、北海道や東北地域では山岳地帯や溪流、広大な平野を活用したスキーや



▲桜島を背景に錦江湾でカヌー体験をする様子。

カッター体験などが実施されています。

令和8年9月に開設40周年を迎えるおおすみくん家。高隈山系と錦江湾の豊かな自然を生かした多彩なプログラムが魅力で野外炊飯やキャンプ、登山などのアウトドア活動はもちろん、スポーツや創作活動、さらには海浜活動など、大隅の自然を全身で体感できる機会が豊富に用意されています。

また、団体での宿泊が可能なことから企業の研修施設やスポーツ合宿の宿泊施設としても利用されており、これまでの施設利用者数は約270万人となっています。

日常生活では味わえない感動や発見が、ここにはたくさんあります。皆さんもぜひ「おおすみくん家」で、かけがえのない思い出を作ってみませんか。



▲夕べの集いの様子。宿泊団体が一堂に会する交流の時間。



▲ホームページ